

( 公 印 省 略 )  
2026年4月23日

関 係 各 位

リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんま実行委員会  
実行委員長 大 島 圭 好

2026年度リレー・フォー・ライフ・ジャパン  
「プロジェクト未来」研究助成公募のご案内

時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日頃よりリレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんまの活動につきまして、御支援御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、(公財)日本対がん協会では、がん治療に関する基礎研究や臨床研究、患者・家族のケアに関する研究に対し、全国のリレー・フォー・ライフ・ジャパンで寄せられた寄付金の一部を「プロジェクト未来」研究助成として交付しています。

つきましては、別添詳細情報を御確認のうえ、貴職関係者に御周知くださいますようお願い申し上げます。

なお、お申込みに関しましては、各自で御対応いただきますようお願い申し上げます。

---

リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんま実行委員会事務局  
(公財)群馬県健康づくり財団 企画広報課  
T E L : 027-269-7820・7403  
F A X : 027-269-8928  
E-mail : kikaku@gunma-hf.jp

---

2026年4月吉日

関係者 各位

〒104-0045

東京都中央区築地5-3-3

築地浜離宮ビル7階

公益財団法人 日本対がん協会

理事長 梅田正行

TEL:03-3541-4771 FAX:03-3541-4783

## 2026年度(第14回)リレー・フォー・ライフ・ジャパン 「プロジェクト未来」研究助成募集要項・ポスター送付のご案内

謹啓

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より弊社事業に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、公益財団法人日本対がん協会では、5月25日(月)付で、リレー・フォー・ライフ・ジャパン(RFLJ)「プロジェクト未来」研究助成の公募を開始いたします。

本助成は、将来のがん医療に資することが期待される、がんの基礎研究、臨床研究、支持療法、社会面に関する研究を支援するものです。患者・ご家族・支援者の皆さまから寄せられた寄附金によって支えられており、「研究の成果を一日も早く患者さんのもとへ届けてほしい」という願いが込められています。そのため、助成金の使途についても比較的柔軟な内容となっております。

つきましては、誠に恐縮ではございますが、同封の募集要項をご高覧のうえ、ポスターをご掲示いただき、貴施設内で広くご周知賜れますと幸いに存じます。

ご不明な点等がございましたら、下記までお問い合わせください。

何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

- ・ポスター
- ・募集要項

以上

### ■ご質問・お問合せ先

(公財)日本対がん協会 リレー・フォー・ライフチーム

「プロジェクト未来」研究助成(担当:阿蘇、渡邊)

E-mail: rfl\_p-mirai@jcancer.jp TEL: 03-3541-4771

※現在、在宅ワークを導入しております。お問い合わせにつきましては、お返事までにお時間をいただく場合がございます。恐れ入りますが、あらかじめご了承ください。

## 2026年度（第14回）

### リレー・フォー・ライフ・ジャパン「プロジェクト未来」研究助成募集要項

#### 1. 助成の趣旨

がん患者・家族の方々を支援するイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン」を通じて寄せられた寄付を基に、将来のがん医療に役立つと期待されるがんの基礎研究、臨床研究、患者・サバイバー・家族に関する研究等を支援する目的で創設した。

#### 2. 助成分野

[分野Ⅰ]…基礎研究・臨床研究（がんの発症メカニズムの解明に向けた基礎研究、新薬開発に関わる基礎・臨床研究、臨床試験、疫学研究等）

※生物学的実験やオミックス解析が大きな割合を占める研究は、支持療法に関する研究でも分野Ⅰでの応募をすること。

[分野Ⅱ]…がんの支持療法、社会面に関する研究（患者・サバイバー・家族の支援、就労、治療後遺症、リハビリ、口腔ケア、がん相談に関する研究等）

#### 3. 助成金額（総額 3000 万円以内）

- ① 分野Ⅰ ..... 1 課題 300 万円以内
- ② 分野Ⅱ ..... 1 課題 100 万円以内

※助成金は原則として 1 年以内を目途に使い切り、やむを得ず研究が複数年にわたる場合は、3 年間に上限に次年度に繰り越すことができる。

#### 4. 募集期間

2026年5月25日（月）～7月15日（水）17:00迄【必着】

#### 5. 申請資格

以下の①か②のいずれかを満たす者

- ① 日本の研究機関に所属する研究者個人、または研究グループであること。
- ② 日本の医療機関等に所属する従事者であること。（医師、看護師、薬剤師、技師、管理栄養士、放射線医学物理士、実験動物関係技術者、公認心理師、臨床心理士等）

※ 申請は各年度につき、1人1件までとする

※ 過去3年以内に喫煙に関する財団から助成を受けた申請者を除く

※ 共同研究について：同一教室内等、申請者と同一の所属部・科の研究者のみで構成される共同研究は対象としない

## 6. 申請方法

リレー・フォー・ライフ ホームページ内「プロジェクト未来」ページ

(<https://relayforlife.jp/project-mirai>) より申請書 (5月中旬公開予定) をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、専用フォームより提出すること。なお、任意で業績論文を5本まで添付することができる。ただし、論文は査読のあるものに限る。

### ・専用フォーム

※今年度より、申請方法は専用フォームへ一本化いたしました。

※専用フォームは、5月25日(月)よりホームページ上で公開いたします。

### ・郵送

※原則として、専用フォームからの申請のみ受け付けております。

※やむを得ない事情により郵送での対応が必要な場合は、別途【[rfl\\_p-mirai@jcancer.jp](mailto:rfl_p-mirai@jcancer.jp)】までご連絡ください。

## 7. 申請に際しての留意点

- ① 申請書は採否にかかわらず一切返却しないものとする。
- ② 当協会は採択した案件に関する情報(氏名、所属、顔写真、助成対象となった研究テーマ、助成額等)を日本対がんの協会ウェブサイト、事業報告書、協会広報誌等に掲載し公表する。
- ③ 研究成果に関する知的財産権は申請者に帰属する。当協会はその権利を主張しない。
- ④ 当協会のプライバシーポリシー【<https://www.jcancer.jp/privacy>】を必ず読んで上で応募をすること。なお、応募をもって当協会のプライバシーポリシーに同意したものとみなす。

## 8. 助成金受給者の義務

- ① 受給者は助成金の受領後、翌年12月の指定する期日までに「助成金使用報告書」、「研究結果の概要報告書」を日本対がん協会に提出すること。あわせて、当該報告書には論文等の成果物を添付すること。
- ② 当該年度内に助成金を使い切れなかった場合は、都度その年の12月の指定する期日までに、「助成金使用報告書」、「研究結果の概要報告書」に加え、「助成継続申請書(書式指定)」を日本対がん協会に提出すること。
- ③ 学会、論文等の成果物には当助成金の支援を受けたことを明記すること。  
日本語表記：リレー・フォー・ライフ・ジャパン「プロジェクト未来」研究助成  
英語表記：Project Mirai Cancer Research Grants
- ④ 助成が決定した研究者は各地で開催される「リレー・フォー・ライフ」ウォークイベントに参加し、会場で研究内容ならびに成果(期待される成果を含む)等の説明が望ましい。参加する開催地は問わないが、研究者の所属機関が所在する地域、ま

たは近隣地域への参加が望ましい。

- ⑤ 受給者の所属先変更、また研究の引継ぎ、交代等、変更がある場合は、速やかに日本対がん協会へ連絡すること。

## 9. 助成金の返還

本助成金は給付型であり、原則として返還義務を負わない。ただし、以下のいずれかに該当すると当協会が判断した場合は、速やかに全額を返還するものとする。

- ① 受給者が、本研究助成金の支給対象となる研究テーマに関わる研究を中止（長期中断）、または継続不能となった場合。
- ② 正当な理由なく、研究報告書を期限までに提出しなかった場合。
- ③ 当該助成金の申請書に記載された研究テーマに関して不正があった場合、または助成金の不適切な使用が明らかになった場合。
- ④ その他、研究助成金受給者としてふさわしくない行為があった場合、または当協会が許容できない特別な事情があると認められた場合。

## 10. 審査・選考

申請書に基づき、RFLJ「プロジェクト未来」審査委員会で審査・選考し、原則として優れた研究、または委員会において重要性・必要性が高いと判断された研究提案について、各分野（分野I、分野II）ごとに、予算の範囲内で出来る限り多く採択するものとする。

選考結果は日本対がん協会の助成審査委員会の審議を経て、理事会に報告し、その承認を得るものとする。

## 11. 採否通知

助成の採択・不採択の通知は、その結果にかかわらず、10月末を目途に電子メールにて行う。

## 12. 問合せ先

(公財) 日本対がん協会 リレー・フォー・ライフチーム

「プロジェクト未来研究助成」(担当：阿蘇、渡邊)

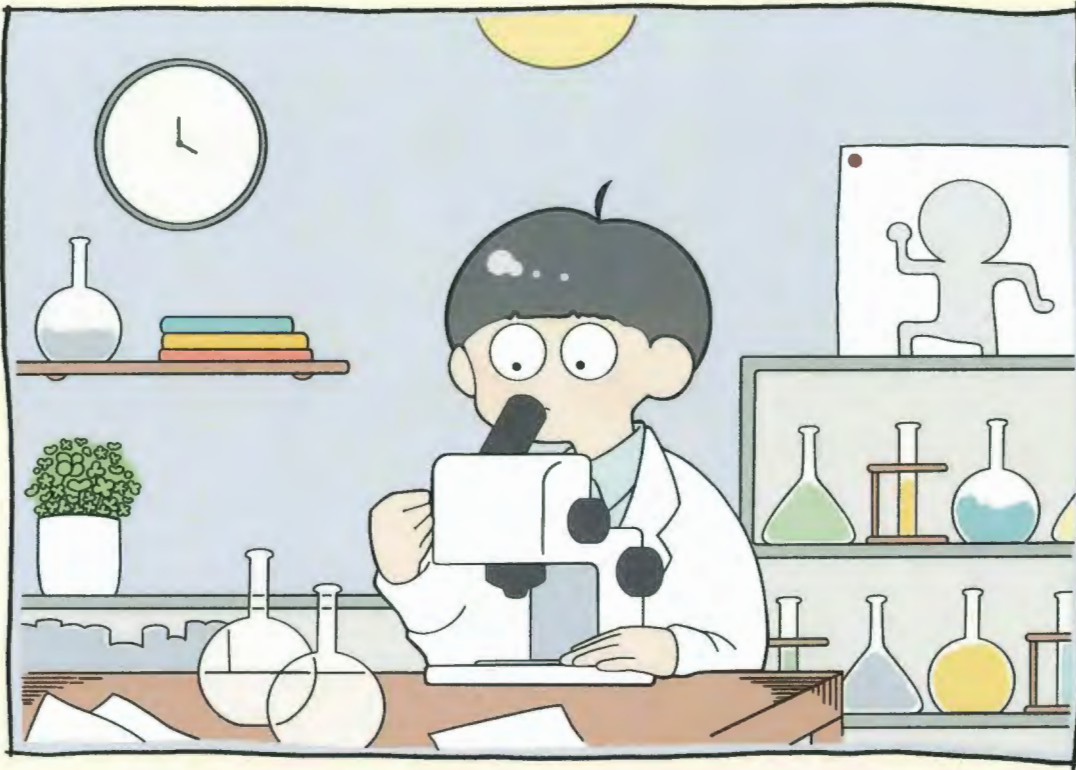
◆E-mail：rfl\_p-mirai@jcancer.jp ◆TEL：03-3541-4771

※現在、在宅ワークを導入しております。お問い合わせにつきましては、お返事までにお時間をいただく場合がございます。恐れ入りますが、あらかじめご了承ください。

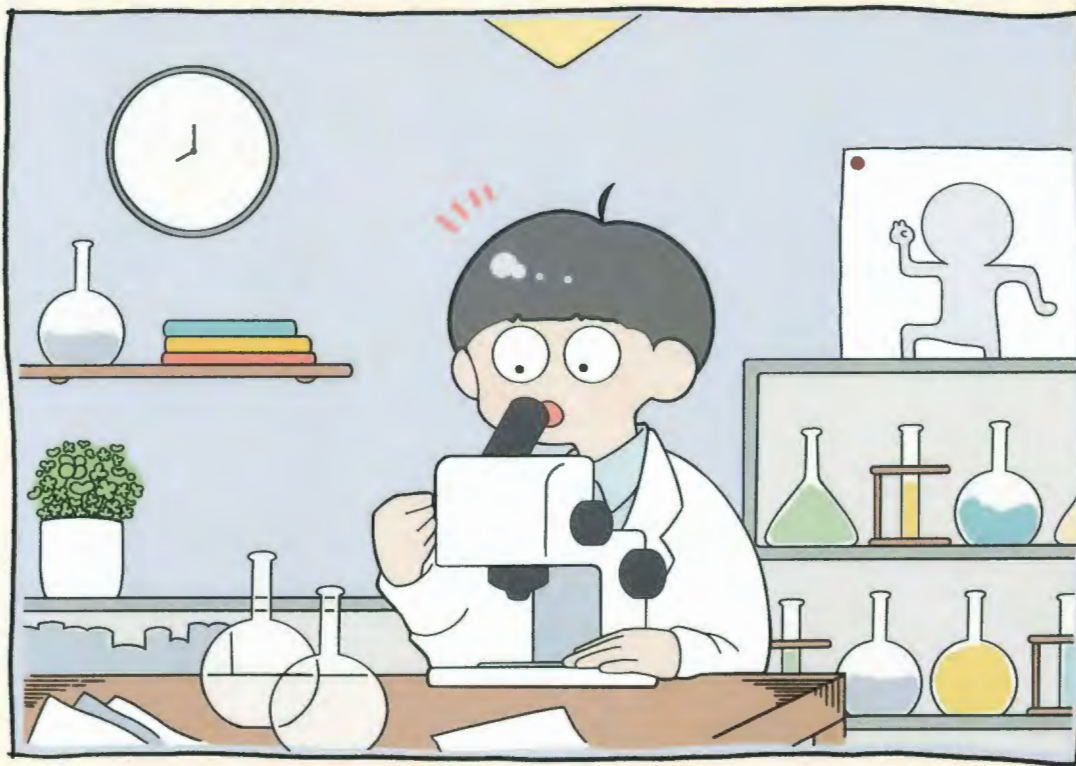
以上

# プロジェクト未来

## 助成研究の公募



\*上下で7カ所間違いがあります。



# 未来を一緒に 見つけませんか？

応募締切

2026年

7月15日(水)

17:00 [締切]

応募は下記より



リレー・フォー・ライフホーム  
ページ内の「プロジェクト未来」  
のページをご覧ください。

(<https://relayforlife.jp/project-mirai>)

お問合せ  
公益財団法人 日本対がん協会「プロジェクト未来」研究  
E-mail: rfl\_p-mirai@cancer.jp

がん患者・家族の方々を支援する  
イベント「リレー・フォー・  
ライフ・ジャパン」を通じて  
寄せられた寄付を基に、将来のがん  
医療に役立つと期待されるがんの  
**基礎研究、臨床研究、  
患者・サバイバー・家族**  
に関する研究等を支援する目的で  
創設した。

助成金額 (総額3000万円以内)

①分野I …… 1件 300万円以内

②分野II …… 1件 100万円以内

※助成金は原則として1年以内を目途に使い切り、やむを得ず研究が複数年にわたる場合は、3年間を上限に次年度に繰り越すことができる。

対象

■ [分野I] 基礎研究・臨床研究(がんの発生メカニズムの解明に向けた基礎研究、新薬開発に関わる基礎・臨床研究、臨床試験、疫学研究等)

■ 生物学的実験やオミックス解析が大きな割合を占める研究は、支持療法に関する研究でも分野Iでの応募をすること。

■ [分野II] がんの支援療法、社会に関わる研究(患者・サバイバー・家族の支援、試労、治療後遺症、リハビリ、口腔ケア、がん相談に関する研究等)

申請資格

■ 以下の①か②のどちらかを満たす者で、申請は1人1件までとする

① 日本の研究機関に所属する研究者個人、または研究グループであること。

② 日本の医療機関等に所属する従事者であること。(医師、看護師、薬剤師、技師、管理栄養士、放射線医学物理士、実験動物関係技術者、公認心理師、臨床心理士等)

※過去3年以内に順業に関係する財団から助成を受けた申請者を除く

※共同研究について：同一敷室内で、申請者と同一の所属部・科の研究者のみで構成される共同研究は対象としない